

お帰りなさい 白鳥さん

今年も白鳥の飛来にはしゃぐ園児たち  
(12月9日；大谷地内の水田)

新春特別企画／成年生まれ大集合

町政スポット／12月定例議会 地域の子は地域で守る

町のホームページがリニューアル ほか

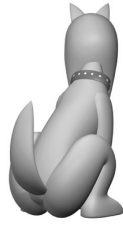
まちの話題／文芸シンポジウム 送橋おっきなお茶のみ会

「昭和がまて箱」プレス発表会 ほか

広報

あさひまち

2006年1月号  
No. 590



## 新春特別企画

# いぬどし 戌年生まれ大集合

## わたしにとってのオンリー“わん”

12月20日現在で、朝日町に住む戌年生まれのみなさんは合計で665人。その内訳は、平成6年生まれ86人、昭和57年生まれ84人、昭和45年生まれ75人、昭和33年生まれ109人、昭和21年生まれ98人、昭和9年生まれ126人、大正11年生まれ80人、明治43年生まれ7人となっています。

それぞれの年代11人のみなさんに、『わたしにとってのオンリー“わん”』と題して語っていただきました。



今年はいぬどし  
戌年

戦後六十一年目となる今年。昭和二十一年生れの方が、還暦を迎えます。終戦後の厳しい幼少期、昭和の激動を歩んでこられた皆様にねぎらいと感謝の心を添え、迎春とご健勝のお喜びを申し上げます。

### 暮らしや心の友として

さて、十二支の中では、最も身近で人と共に歩んできた地球上の仲間。彼らの役回りは枚挙にいとまがありません。物語、映画、冒険、癒しなど、時空を越えて健気な活躍があります。

年配の方でなくても、愛犬との懐かしい経験を持つ人は少なくないはずです。犬の寿命もそう長くなく、今生の別れに小さな胸を痛めた子どもの頃の思い出はないでしょうか。物言いのできない、いたいな仔犬や小動物などの悲喜こもごものふれあいを通して、生きる力や命の尊さが、痛くじわっと心にしみた、あの体験です。

### 犬には犬権があるって？

今私たちの周りでは子どもが少なくなり、その代わりにペッ



長岡麻美さん  
(常盤・23歳)

私にとってのオンリーワンは「自分」です。最近、落ち込んでいた時、友人に「過去と他人は変えられないけど、自分と未来は変えられる。自分が変わって他人も変えられるような人にならなきゃ」と言われ、この言葉が胸に残りました。自分自身を好きになる。そして、周りの人たちに必要とされみんなを笑顔にできる、そんなオンリーワンな「自分」になりたいと思います。

## みんなを笑顔にできる自分になりたい

私の楽しみは畑仕事です。いろんな人と顔を合わせながら毎日畑まで歩いて行き、芽が出た、花が咲いた、と成長する姿を眺めて楽しんでいます。育てた野菜を孫たちが喜んで食べてくれると、また作ろうという気持ちになります。家族は私の体を心配してくれますが、自分が責任を持っていると、冷たい、寒い、もあまり感じないものです。今年もまた、自分のために野菜や花を育てたいと思っています。



志藤と志ゑさん  
(西町・83歳)

## 自分のためにやる畑仕事が生きがい



佐藤泰貴くん  
(小原・和合小5年)

ぼくは、とっても欲張りさ！  
プレステ2もガンプラも、星のカービィも、みんなみんな大事なもののばかり。  
だけど、お父さんのことは格別かな。ぼくのこと、一番わかってくれてるって感じ……。早く大きくなって、今度はぼくが少しだけ支えてあげたいな。

## ぼくのことを一番わかってくれるお父さん

十二月二十日、前田沢いきいきクラブのみなさんが来庁(右写真)し、今年も役場に、手作りの門松一対を寄贈してくださいました。ありがとうございます。役場庁舎玄関前に飾ってありますので、来庁の際はぜひご覧ください。



トが増えていて、と言うと叱られそうですが、世の中、犬好きばかりではありません。趣味としての愛玩動物は、飼い主の社会生活の一員になり、マナーや躾の条件も一層強く求められています。  
健康で賢く天寿を全うできる、長く家族に愛される一生であり、ますように願ってやみません。

こうして長生きできるのも、うまいりんごを作りたいという意欲と家族の支えがあったからだよねえ。今は80歳を過ぎるまでりんご畑に出られたことに感謝する毎日だ。

しばらく前、九州の友人から送ってもらった“びわ”の種を蒔いたらいつの間にか大きくなったのよ。葉っぱは薬になると聞き毎日お風呂に入れて入ってるが、ばあさんとふたり風邪もひかずに元気にいられる。健康に勝るものはないよね。



井澤兵太郎さん  
(夏草・95歳)

## びわの葉っぱ入浴で今日も健康！



阿部祐二さん  
(大谷一・47歳)

私が大切に思っているのは“友”です。地元の同級生と年に2回のゴルフコンペを始めて15年にもなりますが、小さい頃からの付き合いで何でも言える仲間たちだからこそ、長く続いているのだと思います。身近に親身になってくれるたくさんの友人がいること、それが私の宝です。

でも、こういう行事に参加できるのも、快く送り出してくれる家族の理解があればこそ。一番はやはり家族かな…。

## 私を理解してくれる家族が一番

わたしにとってのオンリー1は、友だちと遊ぶことです。休み時間や放課後にバレーをしたり、雪で遊んだりします。夏休みにはよくプールに行きました。

友だちはわたしの宝物で、たくさんの友だちと遊ぶのはとても楽しいです。

今年は中学生。中学校に行っても友だちを大切に、たくさん遊んで、いっぱい思い出をつくりたいです。



阿部円香さん  
(前田沢・宮宿小6年)

## 今年は中学 友だちとの思い出を大切に…



浅井澄子さん  
(元町・59歳)

娘や息子たちにも子どもができ、自分もおばあちゃんになって「そんな年になったんだなあ」と感じる今日この頃。年齢を重ねるごとに、健康であることのありがたさを実感しています。

可愛い孫や家族の健康を第一に考えて、食事にも気を使っています。平凡だけれど、また一年、家族みんな健康で元気に過ごして欲しい、それが一番の願いです。

## 家族みんなの健康と元気が一番の願い





阿部美咲さん  
(太郎三・西五百川小5年)

わたしたちの学校では、すもう大会があります。三人抜きで優勝すると梵天<sup>ぼんてん</sup>がもらえます。最初の一本抜きでは負けてしまったくやしかったです。でも、次の三人抜きでがんばろうと思いました。急いで勝った人にタッチしました。一人目、二人目と勝ち三人目。とても疲れてきました。でもあともう少しと押しました。そして3本目の梵天をもらいました。3本の梵天は私の宝。今年もがんばりたいです。

## すもう大会でもらった3本の梵天

20年前、病気で大きな手術をした時に自分を支えてくれたのは、実家の両親の言葉や家族でした。家族だからこそ、教え語り継がなくてはならないことがあるのだと感じました。

私は三人の孫に、思いやりの大切さ、一生懸命働くこと、昔からの人としての生き方、家族の役割を教えています。孫たちに語り継いだことが孫たちの心に留まり、将来役立てば幸せです。これからも、笑顔で明るい家族でいこうね。

堀

幸子さん  
(大谷七・71歳)



## 孫たちに語り継ぎたい 家族の大切さ



安藤真生くん  
(栗木沢・大谷小5年)

持久走で一つ年下の子から負けたことがとても悔しかった。それがきっかけで、4年生の時から寒河江西村山ジュニアアスリートクラブ（陸上競技）に入って頑張っている。苦しくても周りに仲間がいると自然に頑張れる。走ると気分が良くなるし、記録も伸びて強くなる自分がわかるようになった。

今年は6年生。「誰にも負けたくない！」この気持ちの強さは、ほかの誰も持っていないぼくだけのもの。

## 「誰にも負けたくない！」という気持ち

高校を卒業し社会人となり、すぐに「栄町栄和会」という青年層の親睦会に入会しました。会社とは異なった形で世の中のことを色々と学んでいます。また、地区の活動として、消防団にも入団しました。辛いこともありますが、同じ仲間としての意識を共有し、様々な活動や訓練をとおして日々成長させてもらっています。自分にとって財産であり、かけがえのないもの…。それは“仲間”です。

武田哲史さん  
(栄町・35歳)



## かけがえのない仲間たちが自分の財産



# あいさつ 新年



## 語り合い、ともに築く町づくり

朝日町長 鈴木浩幸

明けましておめでとうございます。  
町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春を迎えられましたことを、心からお喜び申し上げます。

昨年は、「町長と語ろう」の座談会を町内全地区において開催させていただきました、町民の皆さんと親しく膝を交えながらお話をさせていただきましたことができました。今改めて、この座談会の意義を感じているところであります。

町長自ら各地に向かい、直に町民の方一人ひとりにからお話を聞き、そして町長の考えを率直にお話する。そのこと自体が、町民の皆さんと行政との信頼関係を築いていくことに他ならないことを、改めて学ばせてもらいました。あらゆる機会を通して、意志の疎通を図っていく姿勢（聞く耳を持つ姿勢）を貫いていく。このことが、お互いの信頼関係構築の原点であり、政治の原点ではないかと思えます。

町は誰かがつくるものではありません。そこに住む人一人ひとりが町をつくっているのです。良くも悪しくも人しだい。少子高齢化

の急激な進展、人口減少、財政の逼迫、等々。私はむしろこの危機的状況が、町を劇的に向上させる大きなきっかけになると考えています。「何とかしなければ…」と思う気持ちが一歩ひとりに芽生えた時、町はひとりでに向上して行きます。

過去何度となく日本を襲って来た経済危機。その都度日本（日本人、日本企業）は、その危機感をバネに自らのモチベーションを高め、技術開発による新しい技術を創造し、その危機を克服してきたのです。

一人ひとりが前向きな気持ちで町づくりに関わり、知恵を出し、汗を流した時、それはわが子を思う親のように、町を愛し、ふるさとを愛する気持ちとなり、その後ろ姿を見て育った子どもたちも必ず、町を思い、ふるさとを愛する大人となるのです。

語り合い、ともに築く町づくりをめざし、「やる気」「挑戦」の言葉を胸に、人口一万人復活構想の着実な進展に向け、また一段と活力に満ちた年となりますよう、一緒に頑張ってくださいませよう。

# 年頭のご 謹賀



## 町民と共に効率的な施策の展開

朝日町議会議長 白田 金次郎

明けましておめでとうございます。  
町民の皆様には、輝かしい新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は、一月に知事選挙、九月に郵政民営化に伴う突然の衆議院解散総選挙と、県政国政に係わる大きな選挙があり、県も国も新たな時代を迎えて、本格的な改革が方向付けられた年となりました。

朝日町におきましても、町づくり構想の着実な前進に向けて、若さあふれる鈴木町政が本格始動した年でもありました。

さて、今日の社会経済情勢は、人口減少社会の到来、グローバル化の深化、三位一体の改革を始めとする国・地方を通じた諸改革の進展など、大きな節目を迎えています。長引く景気の低迷も上向きに転じたとは言うものの、朝日町におきましては、りんごや米など、度重なる農産物価格の低迷、商工業におきましても、たいへん厳しい局面を迎えています。このような状況の中にあつて、町の財政運営

もたいへん厳しい状況にあり、第三次行財政改革大綱に沿った改革が進められております。今後、朝日町が持続して発展し、元気な町づくりを進めるためには、これまで以上に改革を前進させるとともに、産業基盤の更なる充実を図っていく必要があります。

町民が長い間待ち望んでいた明鏡橋の開通にも、大きな期待が持たれます。

また、新規事業として旧送橋小学校に開設した「朝日町産業創造センター」を中心とした人材の養成にも期待が寄せられています。

今後の活力ある町づくりには、行政と地域住民が一体となった協働による施策を欠かすことができません。議会といたしましても、町民の皆様と共に明るく住みよい元気な朝日町をめざして、誠心誠意頑張る所存でありますので、今年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年を迎え、町民皆様のご清福を心よりご祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

# 定例議会

12月定例議会が13日から3日間の日程で開かれ、人事院勧告等に伴う職員の給与費削減や町営バス購入の見送りなど、歳入歳出それぞれから1,420万円を減額し、平成17年度予算総額を42億5,490万円とする一般会計補正予算など5議案が審議、可決・承認されました。議案の採決事項は次のとおりです。

①任期満了に伴う現教育委員会委員の遠藤清実氏（栗木沢）を再任する。【同意】

## 町政報告

■阿部宗一郎氏に町民栄誉賞を贈呈

芸術文化活動での長年にわ

②平成17年度朝日町一般会計補正予算について、歳入歳出それぞれから千四百二十万円を減額し、予算総額四十二億五千四百九十万円とする。【原案可決】

③平成17年度朝日町水道事業会計補正予算について、収益的収入支出それぞれに八百万円を追加し、予算総額一億八千五百万円とする。【原案可決】

④朝日町税条例第41条「町民税の減免」規定について、公益法人の適用範囲（第4号規定）の拡大と、これまでの適用範囲（第1号、第7号）に該当せずとも特別な理由がある場合を適用させる（第8号の追加）ため、同条例の一部を改正する条例の制定。【原案可決】

⑤新朝日町民体育館早期建設に関する請願について。【請願採択】

たる功績が評価され、第51回齋藤茂吉文化賞を受賞された阿部宗一郎氏に町民栄誉賞を贈呈。

■行財政改革推進審議会を開催  
町民の有識者七人を委嘱し

「第1回行財政改革推進審議会」を開催。ご意見をいただいた。平成18年2月をめどに改革案を取りまとめ、第2回の審議会を開催する予定。

■オープンから百二十五日間で総売上額は約五億二千万円  
11月23日までに百二十五日間開催されたサテライト朝日。総売上額は約五億一千万円との報告を受けている。

■ハッピープランミーティングから中間報告  
今年8月に立ち上げた結婚対策推進協議会（ハッピープランミーティング）。この度中間報告書として提言をいただいた。内容を検討の上、早速実施に移すべく準備を進めている。

■いよいよスタート 朝日町平成のりんごプロジェクト  
地域提案型雇用創造促進事業（パッケージ事業）を「朝日町平成のりんごプロジェクト」と銘打ち受講者を募集。活動の拠点となる「朝日町産業創造センター」が旧送橋小学校に開所。四十一人の参加者を得て人材養成のための研修を開始。また、本事業のPRと朝日町応援団・消費者モニターの募集を東京ビックサイトにて実施した。

## ◎寄付採納報告

- 志藤留吉さん（栗木沢）から文化刺繍額と石材工芸品を秋葉山交遊館にいただきました。
- 日東ベスト(株)（本社＝寒河江市／代表取締役社長 内田淳）から、同社の文化祭の折のチャリティー活動で得た収益金10万円を「まちづくり寄付金」として町にいただきました。



■町内3地区で新たな協働事業「美しい農村づくり」プロジェクト始まる  
三中地区で百人、宮宿地区で七十人、和合地区で百四十人の参加者を得て、第1回ワークショップを開催。年度内に近未来の構想図を作成する予定。

■町税の収納率は全体で97・5%  
10月末日現在における町税の収納率は全体で97・5%。口座振替不能などによる未納額や前年度からの滞納繰越分について、鋭意徴収に努める。

■「どっこいしょ体操」のビデオが完成  
生活習慣病の予防と健康体操の推進として、町民誰もがどこでも簡単に楽しくできる「どっこいしょ体操」のビデオが完成。各自治公民館を始

め、いきいきデイサービス事業の中でも積極的に普及を図るべく活動を展開中。

■生育が順調だったりんごだが価格は低く推移  
りんごの生育状況は、全体的に大きな気象災害もなく順調に推移。価格面については、全国的な豊作傾向により昨年度より低く推移。

■旧ウエルマートの店舗に産直店オープン  
閉鎖されていた旧ウエルマートの店舗。千葉県に本社があるカインズ商配株式会社を買収し産直店をオープン。

■台湾市場で新たなバイヤー  
りんごの台湾輸出。二業者（バイヤー）から引き合いあり。台湾の高級デパートである台湾SOGO（ソゴ）でのギフト商品として、朝日町



## お詫びと訂正

平成17年12月15日発行の広報あさひまち12月号11ページの「**⑮** 棚田米PRポスター原図贈る」の記事の中に、次のような誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

【訂正前】西五百川小学校**6**年生

【訂正後】西五百川小学校**5**年生

国道287号明鏡橋・和合バイパスが11月27日に開通。安全で円滑な交通が確保されるとともに、地域の交流と発

展に大きな期待。今後は、四ノ沢地区の整備について、早期完成に向けた要望を進めていく。

●**朝日自然観に専門家を派遣し経営診断**

11月1日から新たな体制で運営を行っている朝日自然観。山形県事業振興公社の専門家派遣事業による経営診断の結果を踏まえ、現在、運営計画を策定中。老朽化の著しいコテージ5棟の改修工事も今年中に終了する予定。

●**除雪車輻輳運転士を採用**

12月1日付で、除雪車輻輳運転士二十人を採用。冬道の交通確保に努める。

●**本年度の計画基数を達成**

本年度の申込みを11月末日で締め切った。申請数は41基。本年度計画している40基を達成する見込み。

●**国語の力が確実に向向上**

町教育委員会授業研究指定校二年次で「ひとみかがやく子どもの育ち豊かに聞き、豊かに話す子をめざして」を研究主題とした西五百川小

学校の公開授業研究会が、町内外から百人以上の教育関係者の参加を得て開催。高い評価を得た。

●**多くの入場者で賑わった人形劇フェスティバル**

人形劇フェスティバルin朝日町2005を開催。県内外の6劇団による公演が行われ、延べ千五百人の入場者で賑わった。国民文化祭を契機として始まった人形劇活動が、今後より一層活発化していくことに期待。

●**若妻会では初めての試みとなるフリーマーケット**

町内若妻会の14支部が出店し、自ら行動する若妻会として「もったいない運動」を展開。

## ホームページ 町のHPがリニューアル

町のホームページを1月5日からリニューアルします。

朝日町を象徴する真っ赤なリンゴが、トップページでみなさんをお出迎え。町の情報が満載のホームページに、ぜひアクセスしてみてください。



URL...<http://www.town.asahi.yamagata.jp>

## 地域の子は地域で守る



広島、栃木の小学1年生の児童が、下校途中に相次いで殺害されるという事件が発生しました。朝日町でも数年前から、不審者による児童生徒への声かけや不審電話による被害が多くなってきています。学校では、児童生徒への指導や保護者へのお知らせなどを連日のように行っていますが、今問われているのは『家庭・地域の役割』です。

### 保護者の方の役割

#### ●安全な通学路の検討と要注意箇所の把握

- ①実際に歩いて、通学路の危険箇所や要注意箇所、公園、空き地など、不特定の人が入りやすい場所について確認してください。
- ②確認できた情報はみんなでも共有し、防犯の観点や交通事情から可能な限りの安全な通学路を、学校と一緒に相談してください。

#### ●通学路安全マップ・子ども110番連絡所の活用

- ①『通学路安全マップ』は、貼っておくだけでは意味がありません。親子が一緒になって、マップに指をさしながら通学路を理解することが大切です。
- ②各地区には『子ども110番連絡所』がありますが、実際に子どもたちが駆け込めるか、確認してください。

#### 地域の方の役割

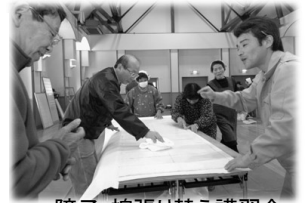
- ①不審者情報や危険箇所については、すぐに学校や警察に連絡しましょう。
  - ②進んであいさつや声かけをしながら、子どもたちを見守っていきましょう。
  - ③児童生徒の登下校の時間帯を知り、用事があればできるだけその時間帯に外出するよう心がけましょう。
- ※『地域の子は地域で守る』この気概をお互いに持ちたいものです。

町教育委員会教育文化課 ☎67-3302



例年になく師走の大雪  
(12月16日／西五百川小)

# まちの話題



障子・襖張り替え講習会  
(12月15／秋葉山交遊館)

## ①文芸シンポジウム(12月18日／創遊館)



あかとんぼ  
山の葉っぱに  
火をつけろ

佐竹史帆 さん



かき氷  
南極行きの  
キップかな

深澤雅姫 さん

### 気軽に書いてみようという姿勢

「書くことの楽しみ～『かすばみ』から現代、そして未来に～」をテーマにした文芸シンポジウムが12月18日、文芸愛好者ら関係者約60人が参加し創遊館で開催されました。郷土が育んだ先人たちに光を当てて、朝日町の文芸風土を探求してみようという趣旨で、去年は海野秋芳シンポジウムを開催。今回のシンポジウムは、それに続く第2

回目となるものです。書くことによって自分を表現し発表の場を作っていくには、また、書く土壌を子どもたちにつないでいくには、どうすればよいかなどについて意見を交換し合いました。

庶民が自由を求めた時代。その背景には、自然的にも社会的にも厳しい当時の生活環境がありました。そんなかつての朝日町では「旭華」や「かすばみ」といった文芸誌が発行されるなど、文筆活動が盛んに行われていました。また、生活綴方の実践を記した「出かせぎ通信」の著者鈴木久夫氏を始め、児童文学作家の最上一平氏、このたび齋藤茂吉文化賞を受賞なされた阿部宗一郎氏など、著名な方々が多く誕生しています。この町には、様々な文学が誕生する土壌が整っているのです。

「まずは“気軽に書いてみよう”という姿勢が必要なのは…」と、町の未来へ提言する内容のシンポジウムとなりました。

その後、今年のみめさゆり俳句大会(阿部宗一郎氏主催)で金賞を受賞した佐竹史帆さん(西五百川小4年)と深澤雅姫さん(宮宿小6年)ほか6人が、その俳句を作った時の情景を交えながら発表しました。

また、郷土が生んだ文芸作家大高幸作氏と阿部美喜男氏を中心にした展示会も、12月18日から10日間の日程で創遊館ギャラリーで開催。多くの文芸愛好者らが、在りし日の両氏を偲び懐かしんでいました。

## ②送橋おっきなお茶のみ会(12月11日／送橋公民館)



### 区栽培のなめこや杵つき餅を味わう

今年で4回目を数える「送橋おっきなお茶飲み会」が12月11日、送橋公民館(海野和博館長)で開催されました。子どもからお年寄りまで、区内外から約80名が参加。前日から料理の準備に入ったという長寿クラブを中心に、区や婦人会の役員の方々が手作りの漬物や笹だんご、なめこ汁、杵つき餅などを振る舞いました。

楽しいひと時を過ごしていた相座若子さんは、「毎年、この行事を楽しみにしているんですよ」と語ってくれました。

### ③町商工会青年部「昭和たまため箱」プレス発表会(12月14日/町商工会館)



#### 100箱限定に予想を超える反響

今年の広報あさひまち2月号の特集でも紹介した町商工会青年部(阿部安彦部長)による「昭和たまため箱」マーケティングプラン。昨年のプランニングに続き、今年はいよいよ実現化に向けこれまで試作・検討を重ねてきました。その結果、遂

に昭和の香り漂うりんごの木箱をモチーフにした商品が完成しました。

部員たちが本業である仕事の合間を縫って作成した縦29.5センチ横32.5センチ深さ22センチの木箱の中に、無袋ふじやくぬぎだいら榎平の棚田米、昔懐かし凍み餅、りんごジュース、銘菓りんごっこ、胡桃など、町の特産品がぎっしりと詰まっています。現在都会に住み田舎を懐かしむ年頃、いわゆる“団塊の世代”の人々を顧客のターゲットとしており、家族みんなで楽しめる逸品。今回は100箱限定で申込受付を開始したところ、予想以上の反響があり部員らも手応えを実感しています。

今後は、季節毎に中身をリニューアルしていくほか、RINGOプロジェクトとも連携しながら来春までに有限責任事業組合を立ち上げ、事業を継続・拡大し、より確かなものにしていきます。

### ⑤町内3郵便局長来庁(12月13日)

#### のぼり 交通安全幟旗60本を町に寄贈

12月13日、町内3郵便局の局長(川口文雄宮宿局長・大井英樹西五百川局長・佐藤徳治大谷局長)が役場を訪問。“交通安全”や“早め点灯”と記された幟旗60本が町に寄贈されました。今後の交通安全啓発運動に生かしてほしいと、山形県北部特定郵便局長会が管内の自治体に対し、地域に貢献するための施策を展開しているものです。

寄贈いただいた幟旗は町交通安全協会連合会(藤原光雄会長)に手渡され、年末の交通安全県民運動の期間中など、町内3支部の交通の要所に設置されました。



### ④Asahi自然観S Pオープンスノーパーク



#### 師走の大雪でプレオープン

ウィンタースポーツの幕開け。Asahi自然観スノーパークが12月22日オープンし、この日シーズン中の無事を祈る安全祈願祭が行われました。

例年になく師走の大雪により、多い箇所では190センチ(12月22日現在)の積雪を記録している自然観。平成元年の開業以来始めて、正式オープンの5日前からプレオープンしました。

また今シーズンは、国内外のプロ、アマが集結する「YTSカップスノーボード選手権大会」が、2月8日から4日間の日程で開催されます。

#### 各種大会の成績

(○内数字は順位)

■第32回家庭婦人バレーボール大会(12月11日/大谷小体育館)

①宮宿ママーズ2(深澤雅人監督) ②

常盤(村山文也監督) ③和合若妻会(長岡裕二監督)

③チーム

前田沢(成原広昭監督)

■第9回町民柔道大会

(12月23日/朝日中武道館)

▽保育園児の部①村山朝師(常盤) ②村山悦史(常盤)

▽小学四年生以下の部①佐竹真人(栗木沢) ②海野美里(八ツ沼) ③小学五・六年生の部①海野勇也(八ツ沼) ②佐竹達貴(八ツ沼) ③白田雅喜(大谷三) ④中学生以上の男子の部①高橋拓也(常盤) ②鈴木俊成(前田沢) ③堀和也(中沢) ④佐藤央規(西原)

▽中学生以上女子の部①五十嵐愛(舟渡) ②和田麻里奈(小原) ③白田沙織(大谷三)

③岡崎愛(水本)



# 朝日町フォトコンテスト

この町には「自然」「歴史・文化」「人」など、ふるさとを感じさせる宝物のような風景が数多く残っています。昭和29年11月に合併し一昨年50周年を迎えた朝日町。これを記念し「今残したいふるさとの宝」をテーマに募集したもののなかから、選りすぐりの作品を紹介します。

## 優秀賞 「獅子踊り」



けやきの古木と素晴らしい鐘楼のある境内で行われた獅子踊りを撮りました。子どもたちの踊りは元気があり、体力を必要とする踊り。わらじもすり減って交換していました。

写真を撮るにあたって、動きのある踊りと後ろの演奏者のバランスがなかなかうまくいかず、何十枚も撮った中の一枚です。

撮影者 和田 章 さん（寒河江市）

あけまして  
おめでと  
ございませ

十二月初旬に降った雪が根雪になってしまい、近年になく早い雪景色になりました。まだ大丈夫と思っていたのは私だけではないと思います。雪の降らない都市部に暮らしていた時は、冬支度といえば冬物の服を出すくらいで簡単なものでした。それに比較すると、雪国は時間的にも経済的にも大変です。

しかし、故郷を象徴するのも雪。列車で帰省する時、県境のトンネルを越え雪景色を見ると山形に帰って来たんだと実感したものでした。地元の人にとっては邪魔者の雪も、都会の人にとっては非日常的で新鮮なもの。自然観にも県外から多くの人が訪れて欲しいと思います。

昨年、自分の娘を十八年間自宅に閉じ込めていた母親が逮捕されました。発育に遅れのある子どもを見られるのが恥ずかしかったからと言うのがその理由のようです。その子にも、誰にも負けない輝くものがあったはず。母親はそれに気づかなかったのか。彼女のかけがえのないものオンリーワンを！

子どもたちの笑顔が、毎月広報の紙面を飾っています。今年はその笑顔が水速である年でありますように。

朝日町広報委員会

委員長 志藤 靖則

委員一同

